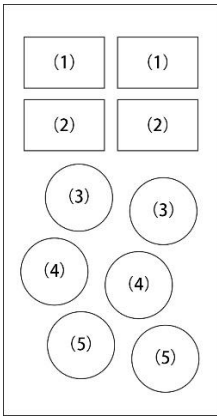


2021年8月2日
日本郵便株式会社

特殊切手「海洋研究開発機構創立50周年」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀）は、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）が2021年に創立50年を迎えることを記念して、特殊切手「海洋研究開発機構創立50周年」を発行します。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	海洋研究開発機構創立50周年
発 行 日	2021年10月1日（金）
種 類	84円郵便切手（シール式）
切 手 画 像	別紙1のとおり
シ ー ト 構 成 ・ 意 匠	 <ul style="list-style-type: none"> (1) 海洋調査船「なつしま」・深海潜水調査船支援母船「よこすか」 (2) 地球深部探査船「ちきゅう」 (3) 有人潜水調査船「しんかい2000」 (4) 自律型無人探査機「じんべい」・自律型無人探査機「ゆめいるか」 (5) 有人潜水調査船「しんかい6500」
売 価	840円（シート単位で販売します。）
小切・印面寸法	(1) 縦20.0mm×横37.5mm (2) 縦24.5mm×横39.0mm (3)～(5) 直径30.0mm
シート寸法	縦187.0mm×横90.0mm
助言・監修	国立研究開発法人海洋研究開発機構
切手デザイン	玉木 明（切手デザイナー）
版式刷色	オフセット6色
発行枚数	700万枚（70万シート）
販売場所	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の郵便局など ・「郵便局のネットショップ」^(注) ・銀座郵便局での郵便振替による通信販売



2 海洋研究開発機構について

海洋研究開発機構(JAMSTEC)は、1971年に我が国の海洋科学技術研究開発の中核的機関として設立され、以来、海洋科学技術の水準の向上を図るべく基盤的研究開発などを行ってきました。

これまでには、広大かつ過酷な海洋・深海を調査するため、人が海に潜って調査するための飽和潜水技術に始まり、音波で海底を調べる水中音響の技術、有人潜水調査船、無人探査機、深海のその先へと海底を掘削する技術などを開発してきました。さらにこれら最先端の技術を駆使して、地球システムの謎を解き明かすため、海洋学、地球科学、生物学、微生物学などの多様な研究分野において先進的な成果を生み出しています。

3 発行する郵便切手のデザイン

海洋研究開発機構(JAMSTEC)の保有している研究船・探査機と併せて、海中の様子を描きました。

(1) 海洋調査船「なつしま」・深海潜水調査船支援母船「よこすか」

「なつしま」は、1981年に有人潜水調査船「しんかい2000」の支援母船として建造され、運用を開始しました。2004年の「しんかい2000」退役以後は海洋調査船として南海トラフの地震・津波観測監視システムDONETの構築などに大きく貢献しました。

「よこすか」は1990年に運用を開始して以来、有人潜水調査船「しんかい6500」の母船として現在も活躍しています。2013年には世界一周航海「QUELLE2013」を実施し、「しんかい6500」とともにそれまで有人潜水調査船による科学調査が限定的であった南半球の深海極限環境の調査に成功しました。

(2) 地球深部探査船「ちきゅう」

2005年7月に完成した世界最高レベルの科学掘削船です。2012年4月には宮城県牡鹿半島沖にて「東北地方太平洋沖地震調査掘削」を行い、巨大地震と津波を引き起こした断層を含む地質試料の採取と温度計測に成功しました。さらに、その後、採取した試料の分析・研究によってこの巨大地震・津波発生メカニズムを明らかにしました。また、2012年の「下北八戸沖石炭層生命圏掘削」および2016年の「室戸沖限界生命圏掘削調査:T-リミット」では生命の生息限界に係る調査研究を行い、世界最深部の海底下微生物群集を発見するなどの成果を上げました。地球・生命科学の国際プログラムの主力船として現在も活躍しています。

(3) 有人潜水調査船「しんかい2000」

「しんかい2000」は、水深2,000mまで潜航できる有人潜水調査船です。日本初の本格的な深海の有人潜水調査船として1981年に完成し、日本周辺を中心にさまざまな海域に潜航して、相模湾・初島沖での化学合成を行うシロウリガイのコロニーの発見や、沖縄トラフでの熱水噴出現象の発見など、日本の深海研究の進展に大きく貢献してきました。2002年11月11日に、1,411回の潜航を無事終えた後に運用を休止し、現在は新江ノ島水族館にて静態保存され、常設展示されています。

(4) 自律型無人探査機「じんべい」・自律型無人探査機「ゆめいるか」

「じんべい」と「ゆめいるか」は科学的な目的で深海の環境を調査するために開発された自律型無人探査機です。安定した姿勢で海底に近づき、より精密な地形調査を行います。人間を乗せることはできませんが、あらかじめプログラムした目標ルートを自動で調査することができます。



(5) 有人潜水調査船「しんかい6500」

「しんかい6500」は、研究者を乗せて水深6,500mまで潜ることができる潜水調査船です。1989年に完成し、推進器の追加による操縦・運動性能の向上や、2名体制だったパイロットをワンマン化して観察者定員を増やすといった改良を重ねながら、これまで1500回以上の潜航を行ってきました。伊豆・小笠原海溝周辺の鳥島海山において世界で2例目となる鯨骨生物群集を発見したり、日本海溝の水深5,350mに潜航し巨大地震の影響と思われる大きな亀裂を発見したりと、深海調査で大きく活躍しています。

その他、題材の名称は別紙2のとおりです。

4 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社Webサイトでお知らせします。

【注釈】

(注)「郵便局のネットショップ」への掲載は、2021年10月1日(金)の予定です。

以上

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-23-28-86 (フリーダイヤル)

携帯電話から 0570-046-666 (有料)

<受付時間 平日 8:00~21:00

土・日・休日 9:00~21:00>



郵政創業150年